東福保育園　　3歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	ゲームを通して身近な色を探す。

2026年　　2月　　18日（水）

子どもの姿	・遊びの中で様々な色を探せる子が増えている。 ・フルーツバスケット等の集団遊びを気に入っている。
「問い」を考える	・ゲームの中に色を取り入れたらどのような反応をするのか。
活動をデザインする	・遊びながらルールを知らせる。 ・全員が動く言葉を「にじいろ」に決めて何度でも使えるようにする。
環境をデザインする	・７色のメダルを用意し、鬼からも自分からも色を認識しやすいようにする。
中グループを構成する	・友だちのことばや表情から気づいたことや驚いたことに共感し、思ったことや感じたことを言えるようにする。
振り返り	前回から何度か色鬼を原っぱなどで遊び、色を探すことを楽しむ子が増えているので、今回は普段から遊んでいるゲームに色を取り入れて遊ぶ。 ７色のメダルにしたことで色を選ぶが、１色あたり２～３人になってしまい、自分の色がなかなか呼ばれない子もいた。「にじいろ」と題して全員が動けることばを入れることで動きが出たので良かったが、２色、またはもう少し色を減らしたり、途中で色を変えるなどして遊んでも良かったのではと思った。

子どもの言葉・姿	写真
≪普段遊んでいるゲーム「フルーツバスケット」を色を使う「色いろバスケット」にして遊ぶ≫ 保育士「黒のおともだち～？」 みんな自分のメダルの色を見て確認し、SとKが手をあげる。 Jが鬼になり、全員で「何色ですか？」と聞くと周りの子のメダルを見て少し迷いながら J「あお！」 青いメダルの３人が席を移動し、Gが座れず鬼を交代する。 G「あお！」 しかし、自分を含めた色で移動する子が少なく、すぐに座られたので、もう１回鬼をすることになった。 ≪鬼が代わりながら好きな色を言う≫ G「ピンク！」 J「くろ！」 K「きいろ」 H「私の色、あまり呼ばれない」 Hのことばを聞いて T「にじいろ！」 何度か繰り返して遊ぶうちに、嬉しそうに席を立ち、すぐに空いている席を探して移動を楽しむ。	